

第 17 回瀬戸内エコツアー

～アマモ場の生き物を観察しよう！すき網体験 in 高根島～

実施日時：平成 24 年 9 月 2 日（日） 10：00～18：30

場 所：広島県尾道市瀬戸田町高根島（大久保海岸）

講 師：中田 雄三 氏、中田 佳子 氏（すき網体験指導者）

参 加 者：35 名（募集定員 40 名）

天 候：晴れ

内 容：忠海港を出港し、大久野島や大三島、ひょうたん島など瀬戸内のしまなみをクルージングしながら瀬戸田港に着港。その後スナガニ掘りやニナ拾いをした後、アマモ場ですき網体験を行いました。

【実施風景】



〔開会式〕

環境省の柴原自然保護官より挨拶。
怪我に気をつけて一日楽しみましょう！



〔クルージング体験〕

大久野島周辺の海では、昔小型のクジラ“スナメリ”がよく見られていました。双眼鏡で探してみました。



[国立公園について]

柴原自然保護官より国立公園についてお話がありました。

海域を入れると一番大きな国立公園は瀬戸内海。では、陸域では？

3択でしたが、正解者が意外と多いのにびっくり。



[高根島みかんについて]

講師の中田さんご夫妻はみかん農家さん。

日当たりのよい瀬戸内の島は柑橘類の生産がさかんです。

柑橘類がどこから日本にやってきたかご存じですか？そんなお話もしていただきました。



[高根島にすむ生き物について]

本日の目玉、アマモ場のすき網体験についてのオリエンテーションとともに、高根島にすむ生き物についても教えて頂きました。

砂浜に住むスナガニに変身。飛び出た大きな眼が特徴です。



[スナガニ掘り]

潮が引くと、潮位の上の方にすむスナガニは巣穴を掘り始めました。

そこを一気に掘り進めると、スナガニを発見！



[すき網体験]

大潮の干潮になると、海のゆりかごであるアマモ場が見えてきます。

すき網を持って生き物を探してみよう！



皆さん、首まで入ってすき網を行いました。今回はお父さんお母さんも腰まで入って子どもたちと一緒にすき網をしている姿がとても印象的でした。



[採集した生き物を観察してみよう]

すき網体験のあとは皆で生き物を観察。

今回はタツノオトシゴが5匹も！海がきれいになってきた証拠でしょうか。



[採集した生き物]

コウイカの仲間、テッポウエビ、オコゼ、タツノオトシゴ、モエビ、アミメハギ、ヨウジウオ、ワレカラ、ウミウシの仲間、クモヒトデなどたくさんの生き物が見つかりました。



[試食]

メバルやハオコゼは唐揚げにして、海藻から作られたところてんやイギス豆腐など海の幸をいただきました。

自分で採った新鮮な魚はまた格別！



[閉会式]

講師の中田さん夫妻とお手伝いいただいた島のみなさんに大きな声でお礼を言いました。

また、高根島に遊びに来てくださいね。



[終わりに]

船で瀬戸田港から忠海港に戻る折、島のみなさんがお見送りをしてくださいました。

ありがとうございました！！